

春ふたつ

夜明けのかがやきを受けて、首をすくと持ち上げる。シベリアから日本へ渡ってひと冬。妻や子どもらと過ごすうち、こどもだんだん暑くなってきた。もう旅立ちのときだ。はざりと羽根をふるわせて、大気をつかまえ空へ。一気に世界の速さが増していく。冷気の壁を切り裂くほどに、日本がぐんぐん遠さがる。これではしのお別れだ。

子どもらも後に続いて羽ばたいている。去年の秋より力強い。その翼があるかぎり、あのみずみずしい大地に渡っていきける。きつと連れ合いも見つけられるだろう。妻もずいぶんうれしそうだ。

さあ、吹きぬける風に乗って天高く舞い上がろう。はるか北の空の先で、私たちの春が待っている！

2018年 2月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
3月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31